

地域活動で汗をかき、現場から地域を変える「現場主義」 + 実現可能な解決策を提案し、実行に奔走する「現実主義」

**責任を持つ立場、
声をまとめて形に**

現職議員として最年少という若輩ではありますが、建設環境委員会委員長と稲城市国民健康保険運営協議会会長という2つの重職を二年間に渡り拝命しました。これまでは、一議員、一委員の立場で、質疑を通してチェックと提案を図って参りましたが、いざ自分が座長となると仕事の進め方は全く変わります。

『万機公論に決すべし』、各委員の声は千差万別、十人十色。全員が最初から同

**自分の可能性を信じ、
前進あるのみ！の一年**

中

4月、一念発起し48歳で消防団第八分団に初入団。ポンプ車操法の訓練(4番員)を経験させていただきました。若い団員に交じっての訓練は正直きつかった(頭で分かっていても体が動きません)。ですが、手厚い指導の結果、稲城市操法大会に選手として出場、おかげ様で総合3位に入賞することができました。公助・共助の担い手である「消防団員になる」ということは「助ける側の人になれた」ということ。暖かく迎え

じ意見にならないのは民主主義の前提条件。会社員時代に宿泊でみっちり受けたファシリテーション研修がここで真価を發揮。全会一致に漕ぎ着けて平成30年第4回定例会(12月議会)では建設環境委員会特定所管事務調査事項「稲城の魅力、観光の整備について」の最終報告&提言を自ら発表させていただきました。他、各議案の判断や、各



全国都市問題会議前には、超党派スポーツ連視察も実施!

てくれた第八分団とOBの皆さま、本当にありがとうございます。

9月、地元のイベント(若葉台夏祭り、地区キャンプ、防災キャンプ等)に加え、今回は市内全域を対象とした街おこしイベント「いなぎカレエスタ2018」の実行委員長を務めました。プロジェクトの企画、チーム編成、広報、資機材・会場の手配、会計とほとんど全ての業務を経験できたこと、カレエ自体は2時間足らずで完売と大盛況だったことは良かったのですが、長い待ち時間やカレエ不足などの課題も

諮問案件への答申等、参加されている方々に少しでも多く発言していただけるような雰囲気醸成し、自画自賛とご指摘を受けそうですが「多様な声を最大限に引き出し、すり合わせ、落とし所を探し、全員が納得する」ことに尽力しました。

ただ、残念ながら最初から結論ありき、反対のための反対、批判のための批判、或いは個人攻撃というものが皆無というわけにはいきません。今後はこうした意見をも含有した、大きな政治が出来るよう、積小為大、更に精進して参ります。

ありました。ただ地域を盛り上げたい一心でも全力で取り組んでいけば、必ず誰かが助けてくれるのだと実感。一緒に汗を流してくれたスタッフの皆さまに感謝感謝です。

私が市議として常に心掛けているのは「地域活動の現場で自ら汗を流し、そこで得た経験・実績を踏まえ行政に提案・改善を求めること」です。昨年はマンシヨン防災の安否確認マニュアルを自ら作成し訓練を実施しました。そのような経験があるからこそ、行政に対して説得力のある提案ができる、そう信じてこれからも取り組んでまいります。



消防団分団員として教育訓練に参加、筒先保持では水圧の凄まじさに驚かされました。カレエフェスタ2018では民族衣装にて司会を務めました。



三会派合同での長岡市スポーツ条例視察。超党派による議連での活動が有用と全員が認識出来ました。東京五輪2020自転車ロードレースが楽しみです!



◆議員番号13番、中田 中 なかたあたる(49歳)

都立科学技術大(現 首都大) 卒→日本HP、日本IBM。第2子誕生を機に自然・教育環境の充実した稲城市に惚れ込み転居。若葉台ワルツの杜在住。平成20年に稲城市教育委員、平成23年に稲城市議会議員初当選、現在2期目。昭和44年6月生まれB型、妻子(息子1娘1)愛犬1匹と同居。ICT活用、防災の充実、主体的市民によるまちづくりを提案中!

【役職・資格等】・稲城市議会議員(二期)・同 福祉文教委員・稲城市土地開発公社 評議員・青少年育成若葉台地区委員会 顧問・若葉台体育振興会 会員・若葉台夏祭り実行委員会 委員・若葉台防災協議会 事務局・若葉台ワルツの杜自主防災組織 本部長・若葉台ワルツの杜 防火管理者・若葉台ワルツの杜自治会 副会長・稲城市消防団第八分団 団員・日本防災士機構 認定防災士、他



www.ataru-nakata.com

◆議員番号14番、鈴木 誠 すずきまこと(36歳)

法政大卒→(株)リクルートコミュニケーションズ(旧 株)RMC)。結婚を前に幼少期を過ごした稲城市平尾へ。平成23年、史上最年少で稲城市議会議員初当選、現在2期目。昭和57年5月生、妻子(娘3人)、親世帯、愛犬1匹と「昔ながらの大家族暮らし」を実践中。

【役職・資格等】・稲城市議会議員(現職最年少)・建設環境委員会 委員長・稲城市国民健康保険運営協議会 会長・稲城青年会議所 第41代理事長(わんぱく相撲行司/かえっこバザール オークション)・稲城市消防団第六分団 副分団長・稲城市バドミントン連盟男子代表選手・稲城まちかど楽友協会 理事・共生型子ども食堂クッチィナイなぎ 理事・自転車のまち 稲城 共同代表・東京都三市収益事業組合協議会 議員・平尾宅地分譲住宅自治会 事務局長・平尾杉山神社奉賛会 理事・林英臣政経塾 広報官・日本防災士機構認定 防災士・日本赤十字救急法救急員・関東総合通信局 陸上特殊無線技士、他



www.inagi.info

起風会に聞く

《インタビュー：近藤信彰》

「平成」の時代も終わりを告げようとしています。最近の話題は何でしょうか？」

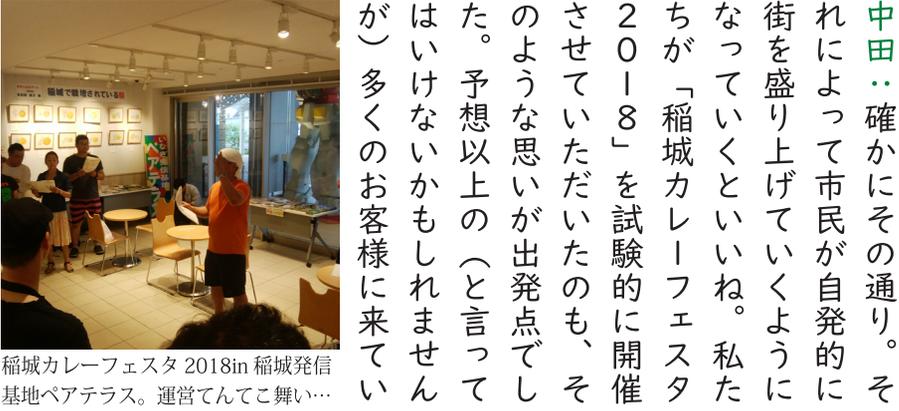
鈴木：そうですね。私としては、「一般社団法人稲城市観光協会」の設立が一番のトピックですね。

足掛け7年間、議会は勿論、自ら活動し提案し続けた事が実現し感無量です。中田：まあ鈴木君は担当所管の委員長としてもすごく頑張っていたからね。ただ稲城市で観光に取り組みむ意義が今ひとつ分かりづらく、市民の皆様の理解が進んでいない気がするけど。鈴木：地方創生の柱「日本版DMO（詳細は国交省ホームページ参照）」は、温泉地やリゾートといった従来の観光ではなく、地域の稼ぐ力を引出し、地域への誇り（シビックプライド）を醸成することを目指しています。地域の産業・歴史・



建設環境委員長 鈴木 誠
各委員会の特定所管事務調査事項は稲城市議会の真骨頂のひとつ。確りとまとめあげることが出来ました！

文化を育て、子供達に地域への愛着心を育む、新しい「観光」の概念は、どんな街であつても必須で取組むべきと言えます。



稲城カレーフェスタ 2018in 稲城発信基地ペアテラス。運営てんてこ舞い...

ただけたことには、稲城の新たな可能性を実感しました。私が到着した頃、カレーは売り切れでした（苦笑）市内で他に動きはありませんか？中田：全ての方にカレーを提供できずすみませんでした。反省しています（苦笑）

他には民間ではありませんが、ご承知のとおり東横インが南武線南多摩駅前オープン。インバウンド効果で外国人を中心に連日ほぼ満室状態と聞いていま

す。そしてよみうりランドが成長戦略『飛躍』を発表。スーパー遊園地を目指して、アート水族館やエンタメ植物園、宿泊・商業施設を整備して来客2倍を目指そうです。近接するジャイアンツタウン構想も含めて、レジャー面も大きな躍進が期待されています。

鈴木：惜しくも川復帰を逃した創立50周年を迎える東京ヴェルディ。サッカーの枠を超え、軟式野球等各種スポーツとの連携を開始。市行政としては、稲城長沼駅ペアテラス南側の公園広場が3月24日にオープン予定。そして『自転車のまち稲城』を標榜して、東京五輪2020に向けた自転車行事やシクロクロス大会『INAGI-CROSS』



ちやりんこマスター稲城も、INAGI-CROSSも無事に開催されました。尾根幹を抱える「自転車のまち稲城」に向けて全力で漕いでます！

また市議会においても、超党派議員による議員連盟

を設立したいと考えており、「長岡市スポーツ推進条例」を議会主導で制定した長岡市の取組みを超党派で視察してきました。東京五輪2020に向けて市議会も市民の期待に一丸で応えなければなりません。



工事が進まない、多摩3・4・17号坂浜平尾線、若葉台交差部分。赤信号が点灯？

鈴木：そうですね。上平尾・小田良の両土地区画整理事業組合の部分は確りと進んでいるのですが、東京都が管轄する鶴川街道と接続する部分の施行が二度も入札不調となり…。道路開通が遅れるのみならず、沿道に建設中の複合商業施設オープンにまで影響が出そうな心配。店舗周辺部分を暫定開放するにしても、信号設置もままならず、警備員対応とするにしても

様々な方法で解決を試みて

いただいているようですが、私たち市議会が市内の問題に取り組みのと同様に、この接道問題に対しても都議会がしっかりと動いてくれることを切に願います。

鈴木：今でも土日祝日や時間帯によって、う回路である学園通りと鶴川街道の交差部分の信号待ちでは異常な渋滞が発生している状況です。早期に対応がなされ、抜本的な解決が図られることを要望しています。前回と言えはもう一つ、今後、政治的な後継者を探すと話されていましたが、中田：よく覚えておられますね！議員に対して不祥事・怠慢・多選・世襲といった類のご批判をいただくことが多い中、新しい風を入れ続けることが大事だと考えます。ホームページやSNS等でご連絡をいただき、3名の有志とお話することができました。

先日、2月18日に地域振興プラザにて「稲城市議会議員選挙・稲城市長選挙立候補予定者説明会」が開催され、お話をさせていただ

た方々を含めて30名近い陣営が参加されていました。鈴木：「議員のなり手不足」が叫ばれています。東京都近郊に関しては軒並み多数の候補者が現れる傾向がここ最近が続いている印象。民主主義の学校たる地方自治に関心をもち、自ら飛び込もうという気概のある方が更に一人でも多く立ち上がっていただけると嬉しいですね。

鈴木：最後に中田さんの消防団加入で加速するお二人の防災に関する熱意についてお聞かせください。中田：日本各地で復興支援ボランティアを経験させていただき、災害の現場で見てきた人助けができるようになっていきたいという思いが高じて、この歳ではありませんが、今回消防団に加入させていただけました。後は体力の低下を何とかできれば…。鈴木：またまた、夏の消防団70周年記念操法大会で見事3位入賞だったじゃないですか！中田：あれは仲間のおかげ。出初式で鈴木君が勤続表彰されたように頑張ります。ね、先輩！鈴木：（笑）共に頑張りましょう！



口先だけより、実践に重きを置く二人。

HP ataru-nakata.com
HP inagi.info